



プラスチックの品質管理に役立つ試験・分析

～劣化評価を中心に～

製品開発や製造工程、保管運搬などのものづくりの各段階において、材料の確認や製品の評価などの試験・分析は欠かすことのできない事項です。特にプラスチックは、金属やセラミックスに比べ、材料や加工条件、使用環境の影響を受けやすいため、高い品質を達成、維持するには、適切な試験、精密な分析の選択と実施が求められます。本セミナーでは、劣化評価試験としてよく用いられる耐候性試験機と、プラスチック関連の分析によく用いられる HPLC や GPC、LC/Q-ToF MS について、その基礎と具体的な応用例についてご講演いただきます。また、当所の技術サポートセンターに導入されている耐候性試験機等の見学も行います。多数のご参加をお待ちしております。

◆日 時：令和2年1月17日(金) 13:20～17:00 (受付13:00より)

◆場 所：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 本館2階 研修室(4)
(和泉市あゆみ野2-7-1)

◆セミナー内容：

- 13:20～13:25 開会の挨拶
- 13:25～13:50 「技術サポートセンターに導入されている耐候性試験機の概要と活用事例」
(地独)大阪産業技術研究所 技術サポートセンター長 岩崎 和弥
当センターに設置されている3種類の耐候性試験機(キセノン、メタルハライド、紫外線蛍光灯)の概要および特徴(使い分け方)と活用事例を紹介します。
- 13:50～14:50 「機能材料におけるHPLC、GPCのご紹介と活用事例」
日本ウォーターズ株式会社 澤田 嘉嗣氏
HPLCやGPCの基礎について説明するとともに、プラスチック中の添加剤の測定やポリマー測定などへの活用事例を紹介します。
- 14:50～15:00 休憩
- 15:00～16:00 「高分解能質量分析計(LC/Q-ToF MS)を用いた品質劣化解析手法のご紹介」
日本ウォーターズ株式会社 江崎 達哉氏
製品の品質劣化解析に有用なLC/Q-ToF MSについて、測定から解析までのワークフローを説明し、実際の解析事例を紹介します。
- 16:00～16:30 耐候性試験機の見学

◆定 員：20名 (※ 受講票は発行いたしません。返信で受付をお知らせします。)

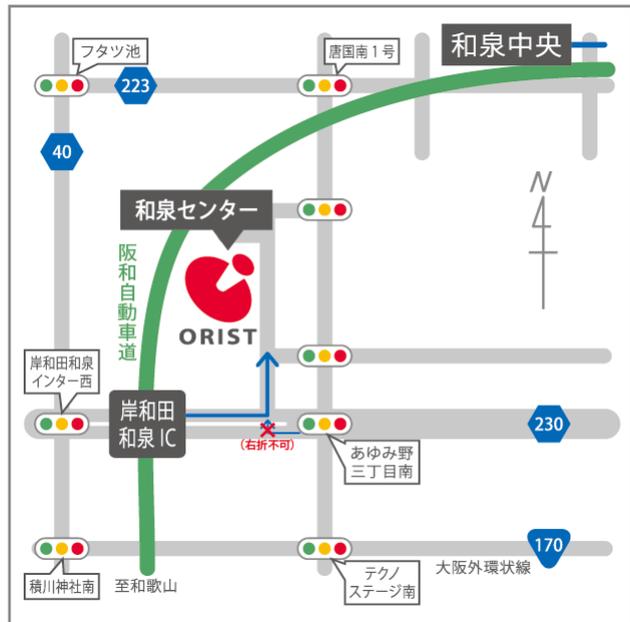
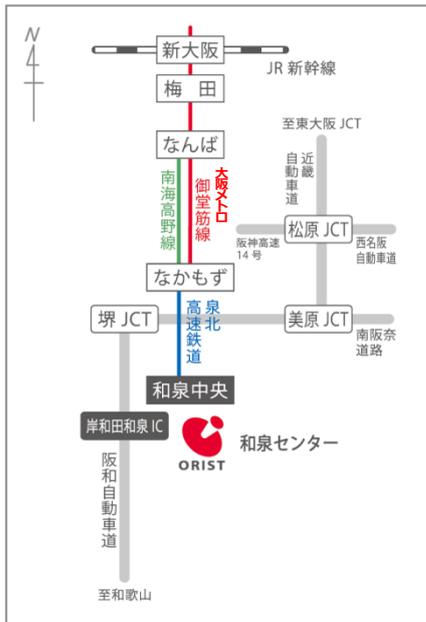
◆費 用：無料

◆申込み先：(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 業務推進部

※ お申込みは、メール (gyoumu_seminar@tri-osaka.jp) またはFAX (0725-51-2520) でお願ひします。

・お問い合わせ先：業務推進部 (TEL：0725-51-2512)

大阪産業技術研究所 和泉センター 交通案内図 (略図)



和泉中央駅バス乗り場5番から
研究所方面へのバスが出ております
和泉中央駅発バス時刻
9時: 7, 27分
10時: 3, 34, 57分
11時: 21, 54分
12時~15時: 毎24, 54分

駐車場は、入口から入って左手にあります。ご利用下さい。

「大阪技術研前」で下車して下さい

FAX 0725-51-2520

参加申込書

gyoumu_seminar@tri-osaka.jp または FAX (0725-51-2520)

(地独) 大阪産業技術研究所 和泉センター 業務推進部 行

開催日: R2.1.17 (金)

会社名			
所在地	(〒 -)		
参加者	所属:	役職:	氏名: (K)
	所属:	役職:	氏名: (K)
利用者カードをお持ちの方は、「K 番号」のご記入もお願いします。			
連絡先	TEL:	FAX:	
講習会の情報源	①Web ページ ②メール配信 ③チラシ ④他機関の情報 ⑤その他 ()		

※上記参加申込書に記載された内容につきましては、本セミナーの参加者の集計及び下記の目的に使用させていただきます。

- ①お客様からの問い合わせへの対応、当研究所利用に関する手続きの案内など、お客様サポート。
- ②当研究所および関連団体の催事情報提供などの案内。

※ 講習会の申込状況の確認はこちら → <http://orist.jp/izumi/events/seminar/>
 ※ 講習会の案内など、当研究所の関連情報をお知らせする「ORIST EXPRESS 和泉センター版」の配信を新規にご希望の方はこちら → http://orist.jp/mail_magazine/magazine_izumi.html